

上場会社名 東洋機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 片山 三太郎
 (コード番号 6210)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 増田 博明
 (TEL 078-942-2345)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	△ 150	△ 120	△ 130	△ 6.31
今回発表予想(B)	8,400	158	178	152	7.37
増減額(B-A)	1,400	308	298	282	
増減率(%)	20.0%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	4,371	△ 1,421	△ 1,326	△ 1,321	△ 64.09

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,600	20	80	60	2.91
今回発表予想(B)	16,000	328	378	342	16.59
増減額(B-A)	1,400	308	298	282	
増減率(%)	9.6%	—	372.5%	470.0%	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	10,684	△ 2,267	△ 2,132	△ 2,121	△ 102.91

修正の理由

当第1四半期連結累計期間において、中国及び南アジア市場におけるIT・電子機器に使用される高性能部品向け射出成形機やダイカストマシンの需要が増加し、受注が改善したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は増加するとともに、損益についても改善する見通しです。従って、通期の見通しについては円高の影響や金融財政不安、国内経済対策の期限切れ等の懸念もあり、先行きは依然不透明な状況のため、当第3四半期以降の見通しは基本的に据え置くものの、当第2四半期連結累計期間までの売上高・損益の改善分を織り込み修正するものであります。

※上記の業績予想は、発表日現在における将来の見通し、計画の前提となる予測が含まれております。実際の業績は、今後の様々な不確定要因によって記載と異なる可能性があります。

以上